

集まった募金の約8割は、自分たちのまちをより良くするための校区の福祉活動や様々なボランティア活動等に活用されています。

募金の約2割弱は、福岡県内の福祉施設の車両や備品整備等に充てられています。また、大規模災害が起こった際に被災者支援ができるよう、災害等準備金として積立てられています。昨年の水害の際にも役立てられました。

**赤い羽根共同募金
(一般募金)
57,264,911円
集まりました!**

令和3年度の赤い羽根共同募金の実績額は、長引くコロナ禍にも関わらず、令和2年度の実績を0.6%ほど上回りました。

**赤い羽根共同募金
歳末たすけあい募金**

実績のご報告

広域配分

- ・県内入所福祉施設等へ **6,875,827円**
- ・災害等準備積立金 **2,186,181円**

事務費

- ・校区分会募金推進費 **2,735,000円**
- ・支会事務費 **679,100円**

ボランティア団体への補助等 **3,557,000円**

校区の福祉活動への補助等 **37,534,000円**

久留米市社協広報事業等 **3,697,803円**

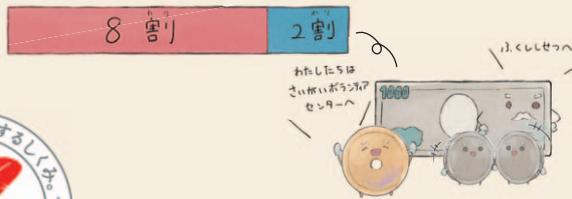
共同募金はどのように使われている?

～おかねのぼうけん～

1 久留米でたくさんのおかねが集まります。おかねはぜんぶ、福岡県共同募金会へ送られます。



2 久留米で集まったおかねの8割は、福岡県共同募金会からまた久留米にもどってきます。



なるほど。共同募金は自分たちのまちで役立てられているんだね。



おかねは、久留米のまちで、助けをひつようとしている人たちのために活動しているボランティア団体などにとどけられ、その活動をたすけています。

4



だから共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ」なんだ



3